

2026年4月9日

報道関係各位

2025年度「CDP 気候変動」「CDP 水セキュリティ」において 最高評価の「A」を獲得

～2年連続で気候変動、水セキュリティともに最高評価～

株式会社ツムラ（本社：東京港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、環境情報開示における国際的な非営利団体である CDP より気候変動と水資源に対する取り組みが認められ、CDP 2025 の「気候変動」および「水セキュリティ」にて、最高評価の「A」を獲得したことをお知らせします。2024 年度に引き続き、2 年連続での最高評価となりました。



■ 「CDP」について

CDP は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体であり、多くの企業や金融機関、自治体が、環境への影響を管理するために CDP のシステムを活用しています。2025 年には、運用資産総額 127 兆米ドルにのぼる 640 の機関投資家が CDP を通じた情報開示を企業に求めました。2025 年には、世界の時価総額の半分以上を占める 22,100 社以上の企業が、CDP を通じてデータを提供しました。

CDP は、企業が開示した情報を A から D-のスコアで評価しています。温室効果ガスの排出削減に関する「気候変動」、水資源の保護に関する「水セキュリティ」、森林資源の保全に関する「フォレスト」の 3 分野が設けられ、当社グループは CDP から回答要請のあった「気候変動」と「水セキュリティ」において、2 年連続の「A」評価を獲得しました。

(CDP について：<https://www.cdp.net/ja>)

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション部 広報課 担当：林、吉崎

〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL：03-6361-7100 MAIL：shuzai@mail.tsumura.co.jp

漢方薬の製造・販売を行う当社グループの事業は、自然の恵みである生薬の栽培から始まる「漢方バリューチェーン」によって構成されていて、自然環境と深い関わりがあります。事業の根幹を成す豊かな自然環境を未来につなげていくために、「自然と生きる力を、未来へ。」というサステナビリティビジョンのもと、「気候変動対策（カーボンニュートラルの実現）」「生物多様性の保全（森林・土壌・水源の涵養）」等をマテリアリティ（重要課題）に掲げ、事業活動を展開してきました。また、パーパス「一人ひとりの、生きるに、生きる。」を起点としたマテリアリティに基づく環境方針や戦略に則り、TNFD および TCFD の提言と整合させた形で、気候変動・自然関連課題を経営上の重要テーマとして位置づけ、リスク管理および事業執行に組み込みながら、継続的な情報開示に取り組んでいます。

このたびは、これらの活動が 2 年連続で評価され、最高評価を獲得できたものと大変意義深く受け止めています。当社グループでは、今後も漢方バリューチェーンを通じて持続可能な人間・社会・地球環境を実現するとともに、人々の健康と医療に貢献し続けられるよう、さまざまな取り組みを進めていきます。

（参考）当社のサステナビリティについて

<https://www.tsumura.co.jp/sustainability/>

以上